



令和4年度

瀬谷小だより

夏休み号



令和4年7月20日

横浜市立瀬谷小学校

学校ホームページ <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/seya/>

国際平和スピーチコンテスト

6年生は、国語の学習として、全員が「未来がよりよくあるためにわたしたちにできることを提案しよう」というテーマで意見文を書き、一人一人が自分の考えたことを工夫して表現しました。また、それが伝わるようにスピーチという形で発表し、学校代表を選出しました。

6月29日（水）に、瀬谷駅前の「あじさいプラザ」で「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト瀬谷区審査会」が開催され、本校を代表して、6年の小野田有莉さんがスピーチをしました。ご紹介します。

今の海と私たち

小野田 有莉

青くて、キラキラかがやくきれいな海。そんな海がきたないと知ったのは、つい最近でした。

私は、海はゴミなんて全くないと思っていました。でも、今の海は、ペットボトルなどが海岸に当たり前のように捨ててあり、海底には、魚網などが落ちています。これらのようなプラスチックが落ちてくると、魚網にからまったりゴミがくろやペットボトルがお腹の中にたまったりして、が死してしまいます。私は、時々コンビニでお茶を買います。それらの容器はプラスチックです。それに、マイバッグを忘れてしまったら、有料のプラのふくろを買います。このようなことをすると、プラごみが増えてしまいます。他人事を感じると思いますが、実はみなさんのとても身近な問題なのです。みなさんはマイクロプラスチックを知っていますか。マイクロプラスチックは、車のタイヤがすり減ったり、プラスチックが日光に当たりポロポロになったりしてできる、五ミリメートル以下のプラスチックの破片です。実は、私たちは、このマイクロプラスチックを食べている

のです。マイクロプラスチックは五ミリメートル以下なので、魚はプランクトンだと思いき、食べてしまうのです。日本でもこのようなことがあり、東京湾では、カタクチイワシからマイクロプラスチックが出てきたこともありました。海をよごしたら、よごした分だけ私たち返ってくるのです。しかし、苦しめられているのは動物たちの方です。私は、ある日海岸で死んでしまったウミガメを見ました。私たちのせいで、どこか知らないところでたくさん海洋生物がたくさん死んでいると考えると、とても悲しくなりました。私はそれを知って、「もうこんな風に死んでほしくない。」と思いました。

このように、海をよごせば、地球上のたくさんの生物が苦しめられてしまうのです。もう一度考えてみてください。なぜ海を大切にするのか。そして、一人ひとりの行動が、今の海を変えると私は考えます。私は、マイバッグを使っています。また、家族で出かけるときは、水筒をもっていきます。このようなことをすれば、少しずつですが、プラスチックごみを減らせます。ゴミをゴミ箱に入れるなど、簡単なことからいいです。海を自分のことのように考えてみてください。私も、次に海に行く時まで無駄なプラスチックが出ないように呼びかけをしていきたいです。